

■肢体不自由のある子どもたち・病弱のある子どもたちへの実践事例

読書活動から言語活動へ

～マルチメディアDAISY図書を活用

東京都立光明学園

主幹教諭 高澤 昇太郎

主任教諭 ^{つじ} 達 直美

はじめに

当学園は、肢体不自由教育部門と病弱教育部門の併設校です。児童・生徒一人ひとりの障害・疾病から生じるさまざまな困難に対する主体的な改善・克服や健康の回復・保持増進を図る指導を積極的に行うとともに、個々の能力・特性を最大限に伸ばすことにより、自立と社会参加の実現を目指しています。一人ひとりの能力と特性に応じた就労や進学を実現するために、キャリア教育や各教科と自立活動の指導を行っています。将来の自立と社会参加に必要な不可欠な力を育むために、子どもたちに対して積極的な読書活動の推進を行っています。

光明学園の読書活動

(1) 読書活動の推進指針

- ・光明図書館活用を一層本格化させ、都立特別支援学校読書活動研究会の拠点校として専門家の知見を得ながら、読書活動が定着・発展するように全校読書活動の一層推進と他校へ

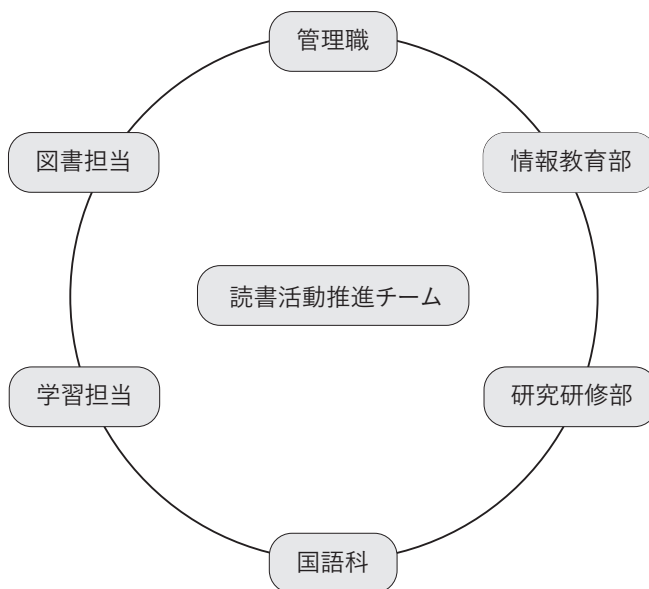
のノウハウ提供を行う。

- ①図鑑や絵本に触れる機会の拡大や図書・新聞を活用した探究などの読書活動を指導に組み入れた指導事例の開発・展開
- ②図書貸出システム稼働による家庭への持ち帰り奨励及び読書奨励賞贈呈による読書活動の定着及び分教室拠点に応じた推進
- ③交流校である世田谷区立梅丘中学校の図書館や区立図書館の一層の活用及び公立図書館・国立国会図書館国際子ども図書館などの団体貸出の積極的導入

<読書活動推進チーム>

光明図書館活動を推進するために、管理職・読書活動分掌メンバー・情報教育担当・学習部代表・研究研修部代表・国語科代表・司書教諭などのメンバーで構成しています。年間計画は、つぎのページの通りです。

	読書に関する活動	ICT機器を用いた活動	その他
1学期	6月読書活動推進月間→表彰 読書の泉	GIGA端末の活動 図書館貸し出しシステム	POPコンテスト *他校との交流
2学期	9月読書活動推進月間→表彰 読書の泉	GIGA端末の活動 図書館貸し出しシステム	POPコンテスト *他校との交流
3学期	2月読書活動推進月間→表彰 読書の泉	GIGA端末の活動 図書館貸し出しシステム	POPコンテスト *他校との交流
通年	おすすめの図書の紹介 図書館だより発行 東京都立特別支援学校読書活動 研究会(年3回)	マルチメディアDAISY図 書の活用と発信	家読の推進 地域図書館利用の促進 全国公開研究会での発表



読書活動を推進するためには、学校の方針として明確に示され、チームとして活動できる基盤があることが大切だと考えています。教員の連携で読書活動を推進しています。

(2) 読書月間の実践

毎月読書活動月間として図書の貸し出しを推進しています。学期の最高貸出数は、以下の通りです。

*S部門（肢体不自由教育部門）、
B部門（病弱教育部門）

学部	1 学期	2 学期
S部門小学部	21	32
S部門中学部	11	15
S部門高等部	6	8
B部門小学部	50	67
B部門中学部	10	13
B部門高等部	4	5

学部により偏るところがあるのはなぜか。小学部段階では、興味・関心を促し、中学部で主体的に本を選択する、高等部で現実的な選択ができるようになるなど、段階に応じた本との関わりを考えることが必要であると考えます。病弱教育部門の50を超える本を読んでいる子どもは、恐竜や生き物に関心があり、将来は博物館の学芸員になりたいという夢を持っている子どもで、図鑑などを借りたり、近隣の図書館も利用したりしている子どもです。得意なことを読書によりさらに伸ばしていくことができました。また月間の図書表彰では、称賛されることで自己肯定感が向上する機会になっています。

(3) マルチメディアDAISY図書の貸出

夏休みなどの長期の休みに、伊藤忠記念財団から寄贈いただいたマルチメ

ディアDAISY図書を入れたiPadを貸し出しました。感想を記入するワークシートに読んだ本のタイトルと、一言感想を書く取り組みをしています。感想を書くことがむずかしい生徒には、読んだ後の気持ちをイラストで選ぶ工夫をしています。生徒に人気がある本は、繰り返しのある構成や視覚的にカラフルなものや文章が短くリズムカルなものなどです。ページをめくることが困難な生徒にとって、自動読み上げで自分で本が読めることは、余暇活動の充実につながっています。今後は、1人1台の情報端末機の活用、クラウドの活用等で、さらに図書を身近にしていきたいと考えています。

(4) 新聞の活用

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことで、在学中から世の中のさまざまな出来事に関心をもち、自分で考え判断する力を育むなど、主権者教育の充実が求められています。光明学園では、職員室の前に各新聞を毎日掲示して、社会科だけでなく各教科で活用しています。興味ある記事の感想を書いたり、学習グループで壁新聞を作ったりしています。この習慣が友達や家庭での対話の充実につながることを期待しています。

(5) 図書館だよりでの発信

図書館だよりでは、新刊の紹介や今年度から始まった給食との連携である図書コラボ給食を紹介しています。また、図書活動を支えてくれるPTA活動も紹介しています。

Let's 読書！ 光明学園 図書館だより
～読書で学校をつなぐ～

令和4年9月1日発行 第3号
発行所 校長 田村 康二朗

令和4年度2学期 Let's 読書月間 St. a. r. t. ★

長い夏休みがようやく終わりました。2学期がスタートしました。1学期の終業式では、読書活動が14人表彰されました。新校長から進言賞状を授けられた学園生は、大きな拍手と高揚の雰囲気の中で祝福され、とてもいい表情だったのが印象的でした。沢山の学園生に、この投稿を通して嬉しいです。読書からの取組で、図書コーナーから図書を取り多くの学園生の姿が日常となりました。この10月は、また『Let's 読書月間』が始まります。新しい図書が入門しているので沢山読んでください。

〈 新着図書紹介 〉

絵本だけでなく、図鑑や本棚リア教育、ソーシャルコミュニケーション教育の図書も多数揃いました。今後も増える予定ですので、楽しみにしてください。

〈 2 学期の取り組み 〉

〈 POPコンテスト 〉

10月からスタートします。みんなにおすすめの図書を紹介する取組です。今年も優勝は出来ず予定です。〈 下の応募用紙の背理の人物作品です。 〉

〈 読書読書交流会 〉

「読書のともだちとつながろう」をスローガンに各学年の読書が、在学期間の学園生と交流します。加齢に応じた書物も増えて、読書が広がります。図書を通して、つながりを読みあかします。

〈 図書コラボ給食 〉

読書活動の新しい取組みとして、『図書コラボ給食』が始まります。コラボ給食とは、図書とその内容に関連する食材や料理が、実際の給食のメニューとして提供されるものです。『食』を通して、図書に対する興味関心を広げ、読書活動を推進する取組みです。9月12日～9月14日までの3日間で実施予定です。

9月12日(月)
『おつきみおぼけ』(お月見)



9月13日(火)
『さかなださかなだ』(鮎)



9月14日(水)
『あれこれたまご』(オムレツ)



※イラストはイメージです。

【 PTA 読書応援団の活動紹介 】

1学期読書月間期間中の6月6日(日)夜更まで、外巻専攻の赤木かみかみ先生とボランティアの保護者数人と教員が揃って、新着図書にカバーをかける作業を行いました。初めて読書の取組に関わる保護者のみなさんは、赤木先生から楽しいお話を伺いながら、短い時間の中でたくさん笑顔してくれました。ご参加くださったみなさま、御協力ありがとうございました！

今年度は、10月と2月にもPTA読書応援団の活動を予定しています。感染症予防の観点で、保護者の方が学校に本校でできる機会が制限されていますが、このような形で保護者のみなさまに読書活動を応援していただけることは大変心強いです。今後も学園生の読書活動の充実のために、御協力よろしくお願い申し上げます。

【 電飾の取組報告 】

本校でも「児童・生徒が手に取りやすい!!」と好評のオープンラックを埼玉福祉社(社会福祉法人)が製品化しました。モニタリングとして第1号を本校に寄贈していただきました。9月から西棟に設置します。



まとめ

学習指導要領において、言語活動の充実及び学校図書館を利用した子どもたちの自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実が明記されています。読書活動においては、学校図書館の環境整備、言語活動においては、障害の重い子どもたちへの配慮が課題になります。読書バリアフリー法が施行され、障害の有無に関わらず本に親しむことができるよう、多面的に考えて、これからの読書活動を推進していきたいところです。

